



目次	
会長あいさつ	1
退任あいさつ	1
愛知県退職校長会総会報告	1
愛知県退職校長会役員名簿	2
全国連合退職校長会総会報告	2
生き生きライフ	2・3
退職校長会入会状況	3
会員交流広場	4
現職校長会情報	4
題字	高橋由美子 (元 岡崎・山中小) 29年度入会
タイトル	野田光宏 (元 岡崎・竜海中)
デザイン	27年度入会

会長あいさつ



「組織は継続」

会長 大久保 慎一

去る三月十三日、平成三十年度の総会において会長を仰せつかりました。精一杯責任を果たしてまいります。よろしくお願いいたします。

さて、私たち退職校長会は、長年にわたり、創意・工夫を重ねながら、研修・情報交換・親睦を中心とした活動を進めてまいりました。先輩諸氏のこれまでのご労苦に敬意を表するしだいであります。

昨年六月、全国連合退職校長会総会において、加藤正躬前会長が「組織の問題は各地域・各県で異なる。全連退はこの点を踏まえて運営をすべきだ」と愛知の姿勢を示されました。「再任用」「定年制延長」「役職定年」など新しい状況も出てきますが、この言葉の重みを確実に受け継いでま

いります。

また、会員の皆様は、退職後も各地区において、子ども・学校・地域に大きく貢献してみえます。こうした状況にも研究を深めていきます。

加えて、来年度には、全連退「東海北陸地区協議会」の愛知開催も予定されています。

こうした中、今年も二百五十四人の校長先生方に入会していただきました。お陰様で諸経費納入会員の総数（七年会員）は千七百二十一人となりました。「組織は数」「組織は人」「組織は継続」と申します。皆様のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

退任あいさつ



「愛知はひとつ」

前会長

加藤 正 躬

三月の総会で退職校長会の会長を退任させていただきました。

平成十九年三月に現職を退

き、引き続き退職校長会に入会し、途中二年の充電期間を経てこの二年間、会長を務めました。

在任中、県下の退職校長の先生方内、大半の先生が本会に入っていたいただき、これは全連退に加入している他県と比べてもかなり高い加入率といえます。これも現職時代を含め県下各地域の取り組みのおかげと感謝申し上げます。

また、この間、現職の県校長会から名古屋市の校長会が分離することになり、これに伴い退職校長会はどうするかということが話題になりました。その時、当時の三河からの副会長さんが、本会の活動内容を鑑み、また、離れるメリットもないし、現職の頃も「愛知はひとつ」ということで活動してきたと話され、特に異論もなく県退職校長会は従前どおりでいくことになりました。ただ、このことに伴い、規約と細則の修正を余儀なくされました。

「愛知はひとつ」という合言葉のもとでひとつの歴史を重ねた本会が今後とも全連退、東陸協と連携しながら会員の交流、現職の校長会との親睦と研修を深め、更なる発展を願って、退任のあいさつとさせていただきます。

平成三十年度 県退職校長会 総会報告

本年度の総会は、三月十三日（火）に名古屋ガーデンパレスにて開催されました。

加藤正躬会長の挨拶の後、平成二十九年度の事業報告、会計決算報告・会計監査報告、三十年度の事業計画（案）予算（案）の審議がなされ、すべて承認されました。

役員の改選では、本会の発展にご尽力をいただきました加藤正躬会長がご退任され、新会長には大久保慎一氏が選任されました。また、吉田文明・柴田育郎副会長がご退任され、一宮登・江本隆副会長が再任され、榎岡譲・安東要・松山基紀氏が、新副会長に選任されました。

新役員を代表して、大久保慎一会長が本会の発展について述べられ、総会は終了しました。



会長

(三河) 大久保 慎一
(三河) 榎岡 要

副会長

全連退総会報告



副会長

安東 要

支部長

(三河) 河合 智仁
(尾張) 村 良弘

常任理事

(三河) 岡田 博則
(尾張) 加藤 千博

理事

(三河) 坂野 重法
(名古屋) 鈴木 栄二(尾張) 伊藤 博寿
(尾張) 井戸 則夫(名古屋) 金原 宏
(名古屋) 伊藤 雅朗

監事

(三河) 安藤 正紀
(尾張) 伊藤 辰男

副支部長

(三河) 辻 正人
(三河) 水野 昌孝

組織活性化委員

(三河) 栗田 万砂夫
(尾張) 久保田 力

(名古屋) 小神 一夫

六月十二日きゅりあん(品川区立総合区民会館)にて、第五十四回全国連合退職校長会の総会が開かれ、大久保慎一会長・一宮登・榎岡讓副会長と私の四名が参加した。戸張敦雄会長の急逝により、急遽、会長に就任された入子祐三氏は、挨拶の中で、前会長の遺志を継いで温故知新をモットーに活動を進めていくことを訴えた。

来賓祝辞の後、会務・決算報告等の六議案が承認された。会員数の減少に伴う会費の減額が大きく、会員増の取り組みが、今後の大きな課題である。

午後からは、文部科学省大臣官房審議官 下間康行氏による「初等中等教育の課題と展望」と題しての講演があった。新学習指導要領の円滑な実施と学校における働き方改革についての内容で、現場の進捗状況の様子が伺え、校長OBとしての支援や協力の方法を考える機会となった。

生き生きライフ

新たな暮らし

25年度入会 玉越 宏利
(元 田原・田原中)

田畑を受け継いで三年になります。その多くは、他人に耕作していただき、残りを母が管理し、年間四十種類近くの野菜を作っています。私は主に母が作った野菜の収穫と、父が遺したブドウ畑の世話をしています。

この春、貸していたビニルハウスが返され、新たな借り手を見つけました。メロンを栽培することと、我が家もその一角で久しぶりに栽培することにしました。

贈答用に百玉あればよい、と思っていたところ、「三百植わるので、頼んでおいた。」と突然言われて驚きました。

マスクメロンは、他の露地野菜とは異なり、ビニルハウスでの栽培です。蒸し暑い中での作業は、経験のない私でもその大変さは想像できます。ともあれ、その方向で着々と進行しています。母は、家の中では、加齢に伴って動きが緩慢になってきましたが、

畑では動きが無駄がなく、別人です。久しぶりのハウスでは、動きに勢いがあります。膝や腰の痛みを忘れているようです。

母の喜々とした姿に和みます。市民館の勤めもあと一年。今よりも母との時間が増え、経験したことのない新たな暮らしが待っています。

心のコントロール 六秒!

26年度入会 永田 淑子
(元 知多・雁宿小)

心について勉強したいと思い、カウンセリング講座に通い始めました。

その中で、生活にも役立つと思われるのが、怒りに対するコントロールです。人は怒ったときに、最初の六秒でアドレナリンが強く出ると言われています。学校でも、すぐイライラする子がいます。最近、私自身も感情をストレートに出してしまうことがあります。最初の六秒を、どのように過ごすかが鍵となります。

【対応方法】

①怒りの本当の感情を知る
(辛かった・疲れた)
(自分の心の中にあるこうあるべきが裏切られた)

②怒りを数値化することにより、客観化し冷静になる
③怒りの消し方

- ・六秒を心の中で数え深呼吸
- ・その場を離れてリラックス
- ・体を動かす

- ・怒りを静める言葉をもつ
- ・義務ではなく希望を言う
- ・我慢しすぎない
- ・思いきり笑う等

豊かな人生を送るための一つの工夫として、最初の六秒間の対応を大事にしたいと思っています。ポジティブに考え、悔いのない人生になるように、自分のやれることから実践していきたいと思っています。まずは、孫育てから!

姉ちゃん、がんばれ!

27年度入会 鵜飼 裕樹
(元 名古屋・千年小)

私の姉は、市会議員である。姉は貧困の中、早逝した父の切望もあって教員となった。私も弟も、姉の稼ぎで大学を卒業できた。持ち前の真面目さで、子どもたちのため、寝る間も惜しんで教育に打ち込んだ。しかし二十年前、仲間を押され、天職の教員を辞し、議員に立候補した。苦渋の決断だった。そして、末席での当選を果たし、以来五期にわ

新しいことに挑戦

28年度入会 松崎 利美
(元 西尾・幡豆中)

「退職校長の賞味期限は、三年だなあ：」
まだ、現職の校長であったときに、耳にした会話である。

たり議員を続けている。雨の日も風の日も自転車で区内を駆け回っている。議会での質問の作成、挨拶回りなど、あらゆる事を独りでこなす。しかし、どんな時も、教員の頃に抱いた思いはぶれない。「子どもたちの未来のため」なら、労苦も惜しまない。そして、市民の声を丁寧に受け止め、優しく応対する姿は、教員の頃のままである。そんなに頑張る姉も、四年毎の審判は、相当の重圧である。支援者や仲間に従分支えてもらっているが、本人の努力も並大抵ではない。それを顔に出さず、皆さんへの感謝を胸に、今日も一人でも多くの人の声を聞くために走り回っている。私は、自分が退職して忘れかけている、子どもたちへの温かい思いを、いつまでも、熱く抱き続ける姉を尊敬している。姉は、私の誇りである。「姉ちゃん、がんばれ！」

話をしていたのは、誰であつたか覚えていないが、退職校長は、三年たつと教育において、賞味期限切れになってしまふのか：と、そのときに思った。なぜだか、この言葉だけが、しっかりと頭に残っている。
気づくと、退職して三年目を迎えた。そろそろ賞味期限が過ぎて、不味くなるのかかと焦る自分がある。
確かに、現場感が薄れてきている。地震や台風などの災害に対して危機感がない。多くの生徒の前であいさつする緊張感がないなど：。
でも、新しいことに、挑戦している。その一つが「エコクラフト」の教室である。
教室の先生は、八十二歳の男性。最近、携帯電話をスマートフォンに変え、教室の生徒のライングループに入つた、好奇心旺盛な先生である。コンクールで全国最優秀賞に輝き、授賞式に一人で東京に出かけていくバリバリの現役である。私の目標である。
賞味期限切れは、人の心が創り出すもの。何年たつても期限切れにならない、柔軟な心と新しいことに挑戦する心をもち続けたいと思っている。

職場はミュージアム

29年度入会 山中 仁
(元 あま・美和中)

昨年十一月三十日、愛知県は県営名古屋空港内に「あいち航空ミュージアムをオープンさせました。私はその指定管理者に入社し、主に営業と団体対応業務を担っています。オープンに向けての数カ月間は、ゼロから新たなものを創り出す大変さをスタッフの一員として経験しました。しかし、このミュージアムにいるおかげで、次のような充実感を日々味わっています。
①学校行事で来館する先生方や子どもたちとの楽しい出会いがあります。②親子の微笑ましい姿が見られます。③エントランスに立つて「おもてなし」を実践しています。④奥が深い飛行機の知識を学んでいます。⑤展望デッキまでの階段は足腰のよい鍛錬になっています。⑥来館者に喜びや感動を与える仕事であることの充実感を味わっています。
今後、子どもたちと飛行機の出会いの場として、ミュージアムの魅力を広く発信していきたいと思っています。



ミュージアムの2階で

ひと手間の心

30年度入会 小神 一夫
(元 名古屋・白鳥小)

「第二の人生のスタートは、これまでの恩返しと思って張りなさい。」先輩から励ましの言葉をいただいた。
今年度より、名古屋市スポーツ協会の学校開放課に勤めさせていただいている。放課後の「子どもたちの居場所づくり」として、トワイライストスクール・ルームの運営を行うところである。

各学校でトワイ運営を行っている専門員の配置、新任の専門員や子ども指導員の研修、保護者の苦情対応等、広範囲な役割を担っている。
毎日、開放課事務局の各区担当専門員によって、様々な課題の早期解決が図られている。

る。頭が下がる思いである。

先日、ある学校に向向き、保護者対応を行った。母親は、「この事業があるから、安心して仕事を続けられる。子育て支援、就労支援として必要なので、しっかりとお願いします。」と厳しい口調で話した。

確かに、事業目的はその通りである。しかし、母親の言葉から、感謝の言葉は一言もなかった。

今後、さらに自主義の保護者が多くなるなか、親学支援の必要を強く感じる。

与えられた仕事を自分の仕事に、「ひと手間の心」を大切に自分なりの工夫を凝らし、取り組みたいものである。

平成30年度 愛知県退職校長会 入会状況
(24年度～30年度会員数) H30.3.31現在 (人)

年度 地域	24	25	26	27	28	29	30	計
名古屋	68	66	65	61	70	71	59	460
三河	111	86	96	108	77	88	108	674
尾張	91	85	73	83	92	76	87	587
合計	270	237	234	252	239	235	254	1,721

会員交流広場

「楽校」

29年度入会 高橋由美子
(元 岡崎・山中小)



笑顔いっぱい「楽校」にしたい思いから、現職最後の年の一字は、「楽」でした。



会報を読んでの感想・意見や会員の皆様の作品【絵画・書・写真・短歌・俳句等】をぜひお寄せください。
詳細は、事務局まで。

アカゲラ

27年度入会 広沢 憲治
(元 稲沢・稲沢中)



木曽川沿いの森では豊かな自然に出会えます。アカゲラが木をたたく音は爽快です。

「奥山方広寺の羅漢像」

27年度入会 加藤 育徳
(元 名古屋・野並小)



両手を上げた羅漢様をパシャ。新しい羅漢様はいろいろなポーズをしていました。

現職校長会情報



平成三十年度愛知県小中学校長会総会が、五月二十二日（火）に日本特殊陶業市民会館で開催されました。松村会長は、「子どもたちの未来を拓く校長会」を目指し、気持ちも新たに共通の課題に取り組もう。」と訴えました。議案の審議・承認、活動方針の採択がなされました。



また、平成三十年度名古屋市長市立小中学校長会総会が、四月十八日（水）に名古屋教育センターで開催されました。川北会長は「新たな教育への対応と、働き方改革の推進。相反する命題を同時に満たすため『集中と選択の徹底』をキーワードに、校長の役割を果たそう。」と訴えました。議案の審議・承認、活動方針の採択がなされました。

平成30年度 役員一覧

愛知県小中学校長会				名古屋市長市立小中学校長会			
会長	松村 光洋 (師勝小)	副会長	中谷 眞人 (大浜小)	会長	川北 貴之 (名城小)	副会長	森 久晃 (栄小)
監査	高橋 鶴 (青山中)	庶務理事	井上 正英 (小坂井中)	監査	鈴木 雄子 (大治西小)	庶務理事	坂野 幸彦 (丸の内中)
会計理事	浅野 眞治 (新城中)	会計理事	山田 貞二 (浅井中)	会計理事	吉野 嘉郎 (黒笹小)	会計理事	山内 敏之 (山吹小)
庶務理事	高橋 眞治 (新城中)	庶務理事	加藤 博之 (若園中)	庶務理事	伊藤 孝一 (富士中)	庶務理事	市川 裕一 (城山中)
庶務理事	高橋 眞治 (新城中)	庶務理事	加藤 博之 (若園中)	庶務理事	伊藤 孝一 (富士中)	庶務理事	市川 裕一 (城山中)
庶務理事	高橋 眞治 (新城中)	庶務理事	加藤 博之 (若園中)	庶務理事	伊藤 孝一 (富士中)	庶務理事	市川 裕一 (城山中)

月十八日（水）に名古屋教育センターで開催されました。川北会長は「新たな教育への対応と、働き方改革の推進。相反する命題を同時に満たすため『集中と選択の徹底』をキーワードに、校長の役割を果たそう。」と訴えました。議案の審議・承認、活動方針の採択がなされました。

訃報

小久保光祥先生 (三十二・二二) 元 田原市立東部中学校校長 中村順一郎先生 (三十四・四十八) 元 名古屋市長市立穂波小学校校長 近藤 真澄先生 (三十八・六八) 元 豊橋市立幸小学校校長 平成三十年一月二十二日から、六月十六日までにご逝去された、事務局に報告があった七年会員の方を掲載しました。

事務局だより

今号より、題字とタイトルデザインが新しくなります。

【題字】

高橋由美子先生 (元岡崎市立山中小学校校長)

【タイトルデザイン】

野田光宏先生

(元岡崎市立竜海中学校校長) 事務局は、七月一日より事務局長の栗田錦治が退任し、前刈谷市立依佐美中学校長の稲生修一が着任しました。よろしく願います。

- 事務局長 上田 信
- 事務局次長 大橋 保友
- 事務局次長 稲生 修一
- 事務局員 加藤美津代

愛知県退職校長会事務局

名古屋市中区新栄一丁目

四九番一〇号

愛知県教育会館六階

愛知県小中学校長会事務局内

TEL 〇五二一六二一八五二

FAX 〇五二一六二一八〇七

E-mail ai-kocho@axel.ocn.ne.jp